

第 1 回 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会 議 事 録

事項	第 1 回 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会	出席者	19名 (事務局除く)
日時	平成 25 年 9 月 20 日 13:00~15:00	場所	兵庫県姫路総合庁舎 福利センター3 階会議室 A, B
内容	<p>1. 開会 (1) 開会あいさつ (2) 委員紹介</p> <p>2. 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会について (1) 設置について (2) 総合治水条例について ・ 総合治水条例制定の背景 ・ 総合治水条例の概要 (3) スケジュールについて</p> <p>3. 議事 (1) 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進計画(素案)について ・ 計画地域の概要(現状と課題) ・ 基本目標・基本方針 ・ 河川下水道対策 ・ 流域対策 ・ 減災対策 ・ ワーキングでの主な意見等</p> <p>4. その他(連絡事項) 5. 閉会</p>		
資料	<p>資料 1-1 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会 設置要綱 資料 1-2 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会 公開要領 資料 1-3 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進計画策定にかかる体制 資料 2 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会について(パワーポイント) 資料 3 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進計画(素案)説明資料(パワーポイント) 資料 4 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進計画(素案) 資料 5-1 第 1 回中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会 上流域ワーキング 議事要旨 資料 5-2 第 1 回中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会 下流域ワーキング 議事要旨 資料 5-3 第 1 回中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会 ワーキングにおける主な意見 参考資料 総合治水条例パンフレット</p>		

1. 開会

あいさつ（中播磨県民局長）

委員の紹介（事務局）

2. 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会について

(1) 設置について

資料1-1「中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会 設置要綱」の説明を行った。

資料1-2「中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会 公開要領」の説明を行った。

資料1-3「中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進計画にかかる体制について」の説明を行った。（事務局）

(2) 総合治水条例及び策定スケジュールについて

資料2「総合治水条例制定の背景、総合治水条例の概要、中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進計画の策定スケジュール」の説明を行った。（事務局）

3. 議事

(1) 会長あいさつ

議事に先立ち、藤田会長よりあいさつ。

(2) 会長代理、議事録署名人の選出

会長は、会長代理、議事録署名人として北川(稔)委員を指名し、了承された。

(3) 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進計画(素案)について

資料3「地域総合治水推進計画(素案)の概要について」の説明を行った。

資料5-3「第1回中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会ワーキングにおける主な意見等」の説明を行った。（事務局）

意見

- ・ 市川の上流である福崎町新町地先で護岸が未整備な箇所があり、雨が降るとたび区長が心配している。河川整備の進捗状況を教えていただきたい。（県民委員）
- ・ 市川の新町地先については、無堤地があることは認識している。今後の対応等については、役場とも相談して検討していきたい。（事務局）
- ・ 各委員は、インターネットで提供されているCGハザードマップ、川の防災情報等のサイトや携帯用の「ひょうご防災ネット」から防災情報を確認されているのか。（会長）
- ・ 神戸新聞で校庭に雨水を貯留する校庭貯留施設の情報を見た。インターネットによる情報を見られない高齢者にとっては、インターネット以外の情報提供方法を考える必要がある。（県民委員）
- ・ インターネットを活用した情報提供が普及していない。神河町では、2年前の災害を契機として、CATVを活用した情報提供に取り組んでいる。今年度から水防本部が設置されて以降の雨量・水位観測情報をCATVで流す取り組みを行っている。（市町委員）
- ・ CATVによる情報提供は重要である。（会長）

- ・ 校庭に水を貯める取り組みを実施したが、校庭の土が流出した。また、ため池関連事業を実施しているが、その事業の中で既に治水容量が確保されているか確認したい。(県民委員)
- ・ 校庭貯留施設の土砂流出に対しては、費用はかかるが、もう少し浸透性の良い土を使用する等対策方法は色々ある。(会長)
- ・ ため池を治水施設として改良する場合、事前に説明が行われるはずである。土地改良関連の担当者に確認する。(兵庫県委員)
- ・ 総合治水推進計画は、目標期間が10年と河川整備計画の30年と比較して短くなっている。よって、校庭貯留施設やため池等の施設整備を推進し、短期間に治水効果を発現する必要があると感じている。(会長)
- ・ 神河町では、9/2～4の豪雨では、時間最大で120mmの降雨を記録し、普段流れていない谷筋にも水が集まり、立木が本川に流れ込み被害が発生した。県の里山防災林整備事業を実施しているが、面積要件や里山の所有者の理解が必要である。しかし、森林に対する意識が低く、如何に所有者の理解を得るかが悩みである。神河町としては、森林を保全するため、独自の事業で間伐を行う予定である。(市町委員)
- ・ 森林の荒廃は問題であり、今後の課題である。谷筋の流れについては計算も可能であり、今後は超過洪水(極端豪雨)を外力とした計算が必要である。(会長)
- ・ 今回示された素案は、非常に良く整理されており、後は素案を実現化する方法が重要である。素案を実現化する中でより良い方法が分かってくるのではないかと。市川水系には文化勲章を付与された方を輩出しており、銀の馬車道ではないが、市川を「銀の川」としてその魅力をアピールする等して、ハード整備を推進してはどうか。(市町委員)
- ・ 川の365日を考えると、川の魅力を高めることは重要である。市川の河川整備計画でキャッチフレーズを募集して議論した記憶がある。ただ、総合治水推進計画は治水計画であり、治水効果の観点から議論する必要がある。例えば、校庭貯留施設のピーク流量低減効果や雨水の貯留状況の把握等が重要である。(会長)
- ・ 各戸貯留や水田貯留等を実施していく際には、補助制度が重要ではないか。(市町委員)
財源の確保については、重要な課題として認識している。これらの課題については、推進計画策定後、地域の声や整備効果を踏まえ、継続される協議会等の中での論議されていくものとする。(事務局)
- ・ まず総合治水推進計画を策定することが重要である。推進計画の実現化に向けた支援については期待する。(会長)
- ・ 太陽光発電、耐震診断等でも、補助制度が策定されてきた。今後、総合治水推進計画を実現化していく上で財源確保の必要性が大きくなれば補助制度による支援が検討されることになる。(兵庫県委員)
- ・ 近年は、1年間の雨量が1日で集中して災害が発生している。下流域では堤防が整備されているが、中上流域は堤防が未整備で危険な地域がある。太子町では、相続関係で水田が住宅地に開発されて流出量が増加して浸水被害が発生している。こうした浸水被害への対策として、県道下等に地下河川を整備してそこに雨水を放流するようにしてはどうか。(市町委員)

- ・ 地下河川は莫大な費用が必要であり、現実的ではない。総合治水推進計画は、地下河川のような大規模な施設ではなく、流域内の様々な施設で貯留して浸水被害を減らす計画である。(会長)
- ・ 佐用町の災害では、流出した立木が橋梁にひっかかり2次災害に発展したため、その対策として、県は砂防堰堤等を設置した。神河町でも、県による砂防堰堤等の整備が行われている。本計画の中に、砂防堰堤等に関して記載してもらいたい。(市町委員)
- ・ 流域全体を見渡して計画を立てることは非常に大事なので、砂防に関する内容を記載してもらいたい。(会長)
- ・ 次回の会議では、できればどこか先導的なモデル事例を提示していただければと提案する。先導的なモデルがうまくいけば、取組みはどんどん広がっていくと考える。(会長)

4. その他

事務局より、議事要旨を事務局で作成し、各委員に確認依頼を依頼した。事務局より、今後の予定について、説明があった。

11月：第2回ワーキング

12月：第2回協議会

5. 閉会

第1回 中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進協議会
出席者一覧

(順不同、敬称略)

属性	氏名	主な役職	出欠
学識 経験者	藤田 一郎	神戸大学教授	出席
兵庫県	福田 好宏	東播磨県民局長	代理出席 宮本
	北川 稔男	中播磨県民局長	出席
	山本 嘉彦	西播磨県民局長	代理出席 笹倉
	岩根 正	但馬県民局長	代理出席 杉浦
市・町	石見 利勝	姫路市長	代理出席 寺前
	登 幸人	高砂市長	代理出席 富田
	多次 勝昭	朝来市長	代理出席 吉岡
	山名 宗悟	神河町長	出席
	岡本 修平	市川町長	出席
	嶋田 正義	福崎町長	出席
	北川 嘉明	太子町長	出席
県民	岩成 孝	姫路市連合自治会 会長	出席
	大西 隆夫	高砂市連合自治会 副会長	出席
	坂本 薫	朝来市生野町区長会 会長	出席
	生田 良昭	神河町区長会 副会長	代理出席 廣納
	小野 芳則	市川町区長会 会長	出席
	松岡 政行	福崎町区長会 会長	出席
	瀧口 迪範	太子町連合自治会 会長	出席

議事録確定署名人

会長：神戸大学教授

藤田 一郎

中播磨県民局長

北川 稔男